

施策2-1-1 学力向上対策の推進

担当課 教育総務課

施策が実現できたときの状態について、平成25年度での到達状況

3ヵ年方針のうち、平成25年度の重点課題の達成(実現)状況

【概ね達成した】

児童生徒が身に付けなければならない「確かな学力」とは、関心・意欲・態度、判断力、問題発見能力、問題解決能力等を含めた総合的な学力ですが、「全国学力・学習状況調査」「岩手県学習定着度状況調査」等で把握することができる学力も重要な学力であることから、全体正答率の全国平均、県平均を基準として、本市の児童生徒の実施学年・教科毎の現状を分析しました。

その結果、等質集団の経年比較では全体的に学力が向上してきている傾向がうかがわれ、算数・数学教員の授業力向上を図るための「授業力ステップアップアドバイザー事業」、大学生を活用した「ラーニングサポータープロジェクト事業」など、市独自に行っている事業と各学校の指導の成果が表れているものと考えています。

一方、学年によっては算数・数学、理科等の教科に依然として課題がみられることから、引き続き、家庭学習の習慣化も含めた学力向上の取組みが必要と考えています。

【一部達成した】

岩手県学習定着度状況調査における経年比較において、県平均を上回った学年・教科別調査数の割合は、平成21年度47%、平成22年度52%、平成23年度60%、平成24年度45%、平成25年度49%と推移しています。

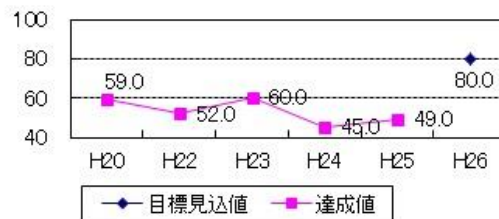
施策目標の達成(実現)に向けた3ヵ年の取組みと方針についての達成(実現)状況

施策目標値の達成状況

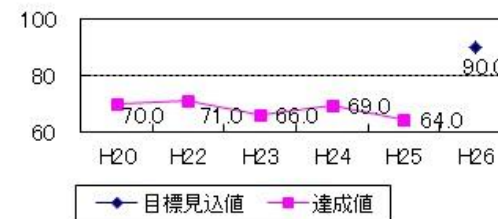
【概ね達成した】

「小中連携授業研修会」等の教員の授業力向上のための研修、少人数指導や大学生を活用した「ラーニング・サポーター・プロジェクト事業」等による個に応じた指導、ステップアップ・アドバイザーを各校に派遣し、算数・数学科教員の指導力を向上させたりするための「学力向上・指導力向上事業」など、児童生徒の学力向上対策を本市の最重要課題と位置付けて推進しました。

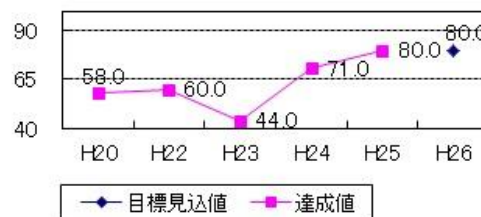
「県学習定着度状況調査」等における県平均を上回った調査数/全調査数×100



「標準学力検査」における全国標準を上回った調査数/全調査数×100



「県学習定着度状況調査」等における1時間以上家庭学習に取り組んでいる児童生徒の割合(小学生)



「県学習定着度状況調査」等における1時間以上家庭学習に取り組んでいる児童生徒の割合(中学生)

